

田植えまで6ヶ月？ 稲刈りまで9ヶ月？

きょうの作業メニュー：2011年1月29日（土）

早いもので一月ももう終わり！相変わらず寒い日々が続きますが、今日も元気に楽しく過ごしましょう。きょうの作業メニューは以下のとおりです。基本的に田んぼ周りの作業はお休みして、湿地復元作業の現場での検討会を実施します。

1) 御所川中流域再湿原化作業着手

メタセコイア付近の給水工事について全員で現地確認をいたします。

大堰脇池からの水路堀につきましても現地で確認および試掘作業をいたしましょう。

(次の作業日) 2011年2月6日(日)午前9時から

2010年12月22日(土)作業報告(写真他提供 豊田さん感謝です！)

1) カエル池掘り：山裾と田んぼ下の2箇所、奥田、小坂、豊田、野村、平岩、向田、村田さん。

山裾は絞水が自然に溜まる場所に、畳1枚分ぐらい。田んぼ下は中央排水路の土管出口から南側に、幅1メートル、長さ15メートルぐらい。2月初めから始まるヤマアカガエル、ヒキガエルの産卵に備えて池作りを完了。これで母カエルも一安心。



2) 畦崩し：ヤマユリ田んぼとスミレ田んぼの間の畦を掘り崩した。上と同じ顔ぶれに溝手さんが加わった。畦とともに、スミレ田んぼの排水堰を撤去。杭2本が深く打ちこんであり、平岩、向田の若手2人が、杭の根元を深く掘り下げて、やっと抜いた。

3)草刈り:英毅さんは田んぼ下で、大屋、鈴木、西田さんは田んぼ上の草地で。
英毅さん、実は本格的な草払い機の操作は初めて！感想は快感！でもけがしないように続けましょうね。



4) 給水箇所の点検：11時すぎ、少憩のあと、平岩、豊田、野村の3人は、谷戸上流域の湿地化給水箇所の点検を実施。

①前週、水道ホースを使って浄化池に分給水できるようにしたが、結果は上々で、最下段の通称C池の水深が16～17センチあり、各種の水生動物の繁殖に充分、耐えられる。また、自然観察の会が設けた浄化槽にも、水道ホース分の給水が実現していた。

②給水地点から約100メートル下流に、自然観察の会が16日、「第2カエル池」を掘ったが、そこにも給水した水が滲み出て、水深3～4センチに溜まっていた。1メートルぐらいだった池の幅を、2倍に広げた。

5) 新田んぼの田うない：少憩のあと、大屋、小坂、向田、村田さんが、約半分まで掘った。



～1月22日(土)参加者：12名：以下、敬称略・五十音順～

大屋進・奥日せい子・小坂泰子・斎藤英毅・鈴木孝紀・豊田充・西田哲治・野村紀子・平岩由夫・溝手一浩・対田祐加子・向田智也